

りゅうおう

議会だより

No.187
2019年5月1日
滋賀県竜王町議会



- | | | |
|-------|------|-------------------|
| 定例会報告 | P2～ | 過去最高の予算規模 |
| 全員協議会 | P6 | コンパクトシティ化検討 |
| 委員会報告 | P7～ | 大きくなる道の駅「竜王かがみの里」 |
| 一般質問 | P10～ | 買い物、通院などが自由に |
| 追 跡 | P19 | 滋賀竜王工業団地の今 |
| シリーズ | P20 | いきいき人生No.35 |

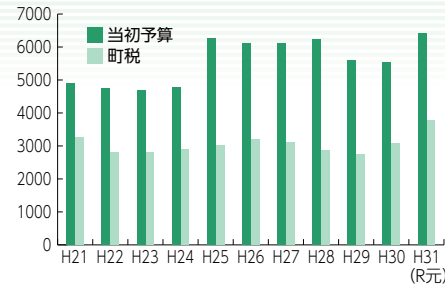
3月
定例会

8年ぶりに復活されたチューリップ畑 関連記事P20

令和
元年
(2019年度)

新しい時代の活力

当初予算額と町税の推移表



当初予算額に対する
町税の割合58.6%

予算総額は過去最高の規模
一般会計総額は
64億2400万円・前年度比16.3%増
町税は
37億6372万円・前年度比21.9%増

活力ある まち創り

企業誘致・若者定住対策と 雇用の促進

若者定住のための住まい助成事業
1110万円

竜王ブランドを 全国へ発信

魅力ある農業の創出事業
700万円

新たなまちづくり 構想の推進

コンパクトシティ推進事業
730万円

竜王で子どもを 育てたいという 教育の充実

生きて働く基礎学力定着事業
93.7万円

住民の声

町長や新年度事業に
期待することを聞きました。

橋本在住 西村明夫さん



人生90年と言われる
超長寿社会が目の
前です。本町に
住むすべての人が心
豊かに健康で生き生
きて暮らしていける
ための施策の立案とその推進のための
ボランティアスタッフの確保・育成が
急務であると考えています。

小口在住 西村良子さん



竜王町では、人口
減少に伴い空き家が増
えてきたように思
います。私の経験か
ら空き家には子育て
世代に少なからず需
要があることを実感しました。
空き家の紹介やマッチングはして頂
けますがそこまでは。更に一歩踏み
込んだ若者の定住に向けた取り組みに
期待します。

・安心のまち実現予算

町は昨年度から、急速に進む少
子高齢化や人口減少などの厳しい
環境変化に対応し、住居や教育・
医療・福祉・商業・公共交通等の
さまざまな機能の配置を検討し、
将来にわたりすべての住民が安心
して暮らし続けることができる利
便性の高いまちづくりを検討して
います。

そのような中、2月27日から始
まった定例会は、3月25日まで
27日間での会期で開催しました。
定例会では、条例11議案、平成
30年度補正予算7議案、平成31年
度予算8議案、その他1議案の合
計27議案を原案のとおり可決しま
した。

平成31年度は、8つの施策に予
算を重点配分されており、その中
での主な事業を紹介します。

なお、平成31年度一般・特別会
計などで主に議論した事業はP5に
掲載しています。

コンパクトシティ化「10年後」・
グランドデザイン構想「30年後」実現に向けて
今年度 住民などへの説明・意見交換会を実施

(P6に関連記事があります)

健康寿命の延伸・地域 共生社会の推進

地域支援合いしくみづくりモデル事業
92万円

安心して子どもを産み、育てられる 環境づくりと子育て支援の充実

子育て世代包括支援
センター推進事業
746.3万円

防災情報システムの 構築・防災体制の強化

防災行政情報システム整備事業
4億420万円

持続可能な地域 公共交通の確保

公共交通システムの構築事業
1285万円

安心して暮らし 続けられるまち創り

健康寿命の更なる延伸をめざします

〔りゅうおう健康活動推進事業：下記に掲載しています〕

本町の健康課題は、糖尿病や高血圧症などです

りゅうおう健康活動推進事業

問健康推進員がいる地区にこの活動助成があるが、推進員がいない地区への支援はどうしているのか。

答地区に担当保健師がおり、その地区のリーダーと連携して事業を実施している。



りゅうおう健康ベジチャレンジ啓発活動

新年度予算で議論した主な事業

新年度予算は3月12日から14日の3日間、一般会計・特別会計・水道事業および下水道事業会計の合計8議案を審査しました。

ここでは、議員と町の間で質疑応答があった主な事業を紹介します。

下水道事業

問下水道管の総延長はどれくらいか。また、老朽化した管路の点検はどのようにするのか。

答総延長は、公共下水道が99km、農業集落排水が8kmの合計107km。公共下水道の管路は平成3年から供用開始され、ストックマネジメント基本計画により、今ある管路などの更新に向けて計画づけをする。

住んでいるみんなが笑顔になるまちづくり事業

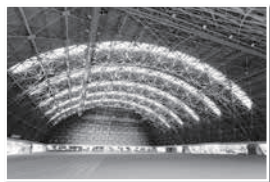
問社会福祉協議会に配置している地域福祉コーディネーターは、国の地域力強化推進事業であるが、補助が無くなっても引き続き配置するのか。

答現在、地域に入り、どのような課題があるのか把握し、その課題を住民自らが解決するという体制づくりを中心に活動をされている。今後も、このコーディネーターの配置は必要であると考えている。

ドラゴンハットの改修

問ドラゴンハットの音響設備は以前から聞きとりにくい対策はどうか。

答国の交付金を活用しつつ、音響設備の改修を行っていく。



ふるさと納税推進強化事業

問業務委託料は、直営で業務実施する市町もあるが、直営は考えられないのか。

答国の動向も見ながら、当初JTへの委託から始まり、さとふる、更には楽天という大きなマーケットへ拡大することになっている。それを限られたマンパワーで直営することは難しいため、一旦、委託を中心に考えている。



謝礼品のカatalogなど

法人町民税が増収予定(5億5000万円の増額補正)

プレミアム商品券(※)は

問プレミアム商品券発行事業について、他の市町は新たな部署を設けて職員を配置されると報道があったが、事務量が増えるのか。

答対象者を正確に把握し、案内や申請受付事務を行うこととなる。併せてプレミアム商品券を作成し、町内で商品券を取り扱ってもらう事業者や換金してもらう金融機関などを定めていく作業が増える。

※購入額2万円を上限として、2万5000円分の買い物ができる商品券



平成30年度一般会計補正予算は、大手企業の業績が好調であったために歳入が大幅な増額になります。

また、歳出は各事業で年度末を前に既に執行が終わっている予算残額の減額、または決算見込みによる減額です。増額の主なものは、財政調整基金、土地開発基金、未来につなぐふるさと交電基金などです。

データヘルス計画は

問データヘルス計画および実施計画はどの課が所管し、策定したのか。また、健康推進課との関わりはどのようになっているのか。

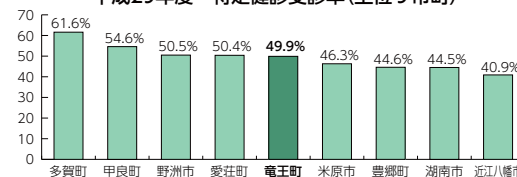
答両計画の策定の所管は住民課である。健康推進課との連携は、受診率向上に向けた取り組みとして、受診を促す電話勧奨を行っている。

データヘルス計画とは

健診の結果や病院を受診した保険診療情報(レセプト)を分析し、保険加入者の健康保持増進のための事業計画。



平成29年度 特定健診受診率(上位9市町)



自殺対策計画は

問自殺対策計画の策定は、当初の計画どおり、進んだのか。

答これまでワーキングを4回、検討委員会を3回、今後、各会議を1回行い策定業務を完了し、当初の計画どおり策定する。

地域おこし協力隊は

問地域おこし協力隊の費用が減額されている理由は何か。

答今年度は応募がなかったため減額している。引き続き様々な分野で幅広く募集していく。



プレミアム商品券が発行される予定(10月から消費税率引き上げの予定)

低所得者・子育て世帯が対象

総務産業建設常任委員会

調査 重点道の駅「竜王かがみの里」拡充

3万7900㎡の土地取得へ

年々増加する県内の観光客を重点道の駅「竜王かがみの里」へと誘導し、更なる地域の活性化のため、駐車場の拡張、農産施設整備、町道の新設、防災拠点化等の機能拡充を図る。

【最近の経過】

昨年3月から、隣接事業者に用地協力を得るため、協議を行ってきた。

国土交通省が整備する駐車場用地は、平成31年度より事業着手の見通しとなる。

【今後の動き】

土地の購入に向けて、基本事項を事業者と覚書等で双方確認し、次年度以降、段階的に土地の購入を進める。

引渡し方法：既存建築物は売主にて撤去され、更地の状態で引渡し。

主な質疑応答

問 一括契約をするとの事であるが、契約後に土地の価格が変動した場合、どのように支払うのか。

答 契約後の土地評価額の変動に影響を受けることなく、契約時の価格で支払う。



拡がる「竜王かがみの里」駐車場

調査 ため池ハザードマップ策定状況

近年、全国各地で大規模地震の発生により、ため池による被害が発生している。国は減災対策の観点から、各市町にため池ハザードマップ作成の整備を推進している。

【策定の状況と今後の動き】

町内のため池は47箇所あり、ハザードマップ作成の対象となるため池は20箇所。内10箇所については平成30年度にマップ作成を完了し、関係自治会へ内容の報告を行い、4月以降町ホームページに掲載する予定。

残る10箇所については、平成31年度に作成。

主な質疑応答

問 ため池ハザードマップと従来の土砂災害ハザードマップとで重複する場所は、どの様に関係付けるのか。

答 複合的、総合的な要素を含めたため池ハザードマップ作成にはならないが、土砂災害警戒区域等には明記していく。



対象の一つとなる八重谷沈砂池

調査 新規条例を審議し、全員賛成で委員会可決

- ① 竜王町総合計画策定条例
- ② 竜王町中小企業・小規模企業振興基本条例
- ③ 竜王町滋賀竜王工業団地内多目的広場の設置および管理に関する条例

10年後・30年後

町の中心核と集落を
いかに結び付けられるかが課題

惣四郎川からのぞむ中心核

3つのテーマに対しての意見

【1】中心核エリア

- ・ 竜王小学校の移転に伴い、その跡地に集合住宅、学習塾、レストラン、宿泊施設、飲食店があればよい。
- ・ 浸水しない立地、災害時の対策の検討は。
- ・ 中心核と周辺部のバランスの良い発展が必要である。
- ・ 町長が代わっても方向性は変わらないようしっかりしたものを積んでいくべきでは。
- ・ 将来の構想図はわかるが、実現のための財源の確保と絵に描いた餅で終わらないための力強いリーダーシップが必要である。

【2】集落機能の維持

- ・ 自治会活動や文化の簡素化、農業法人の合併ができれば集落も歩み寄れるのでは。

【3】公共交通アクセス

- ・ 地域支え合いしくみづくりモデル事業を全部の集落で実施、その中で、移動支援を確保し、中心核へ行ける仕組みづくりを。

コンパクトシティ化検討事業
議会もワーキングに参加

委員会でも議論

10年後のコンパクトシティ化構想と30年後のグランドデザイン構想に向けて、町は平成30年度から検討事業を始めています。議会も昨年の10月24日と今年の2月14日の2回にわたり、ワーキングに参加しました。議員から出た意見や課題などを掲載します。また、予算決算常任委員会の質疑応答も紹介します。後日、開催される住民への説明会で多くの意見が出されることを期待しています。

住民説明会は、
いつ開催されるの？

(予算決算常任委員会での質疑応答)

問 コンパクトシティ化検討事業の住民説明会は、どのように開催されるのか。また、中心核整備基本計画策定業務の構想は、いつ頃に取りまとめるのか。

答 4月下旬から7月にかけて4ブロックに分けて開催したいと考えている。また、中心核整備基本計画は、配置案を盛り込み、年内に仕上げたい。それを受けて、個別の施設の基本計画に取り組みたい。

地域活性化特別委員会

調査 「定住促進」から「若者定住」へターゲットを絞る

空き家対策の取り組みとして、家賃も含めた「住まい」を切り口にして、転出抑止・転入促進を目指す「竜王町若者定住のための住まい助成制度」へと名称変更と内容の拡充を図る。

●制度の追加と拡充

【家賃の補助】

- ・12カ月以上の賃貸契約をした月額4万5000円以上のアパート等の家賃が補助対象。
- ・補助対象額は、家賃から住宅手当を差し引いた額で、最大6カ月分の家賃の50%を補助。
- ・補助の期間は2年間。限度額は、1年目20万円。2年目10万円。
- ・町内在住者が町内の集合住宅に転居する場合も補助対象。
- ・家賃補助を受けた人が住宅を新築やリフォームする場合、再度補助を受けることが可能。

【新築・リフォームの補助】

- ・新たに100万円以上の施工工事の場合、町外施工業者も可能。町内施工業者は以前と同様50万円以上が補助対象。
- ・限度額積上げ制により、これまでの一律限度額から補助額は、申請者や工事の条件により異なる。



空き家対策パンフレット



家賃の補助対象となるアパート

主な質疑応答

問 家賃補助の対象となるアパート等はどこか。

答 家賃補助は12カ月以上の賃貸契約をした月額4万5000円以上のアパート等の家賃を補助の対象としているため松が丘地先のアパートは対象になる。

問 空き家を放置しておくとか老朽化や獣害などの被害も予想されるため、どのような対応を考えているのか。

答 家屋を所有されている全ての方に、空き家の適正管理のためのパンフレットを作成し、配布することを考えている。

教育民生常任委員会

調査 学ぶ力の向上策と学校現場における業務改善

1. 教師力・学校力アップ事業の取組

学校園自主公開アピール授業として、竜王中学校で「主体的・対話的で深い学びから広がる学び」をテーマに授業を公開した。

竜王西小学校では、「主体的に学び合う子どもを育てる授業の創造」をテーマに授業を公開した。



自主公開授業

2. 徹底反復学習「竜王チャレンジタイム」の取組

両小学校の子どもたちに「生きて働く基礎学力」を育む事を目的として、陰山メソッド^(※)の取組を始めた。単に知識や技能を獲得するためだけでなく、集中力の向上や脳の活性化をねらうとともに、子どもたちの自己肯定感や学びに向かう意欲を高める。

※陰山メソッドとは、徹底的に反復し、完全に覚えるまでの学習方法。



取組のイメージ

3. 学校現場における業務改善の取組

・学校支援マネージャーの配置

生徒指導力向上に向けた支援、課題のある児童生徒への対応支援等、また経験の少ない先生へのサポートとして心強いものがある。

・支援スタッフの配置

中学校の4つの部活動で監督や審判ができる部活動指導員として活用されている。その他、教職員サポートスタッフや加配事務職員は各校のニーズや目標に合わせて配置されている。



子ども達と向き合う

4. 自分の夢や目標を持つ！

～竜王中学校キャリア教育の取組～

竜王町について学ぶ地域学習を中心に、自分の生き方を考えるキャリア教育や「本物体験」としての勤労体験学習等を展開している。



勤労体験に向けたマナー講座

主な質疑応答

問 徹底反復学習は、結果が出ないとはいえないと思うが。

答 反復学習の取組に対して、定期的に検証できるシステムを構築できるように考えていく。

問 竜王ブランドの確立は

答 推進協議会を組織し取り組む



山田 義明 議員

①高品質で竜王町ならではの農産物や加工品で全国から認知されるモノやコトである。
②平成28年度から取組の「竜王スキヤキプロジェクト」で生産者・企業・関係機関・行政が推進協議会を組織し取り組んでいる。
③竜王まるごと「スキヤキ」プロジェクト推進協議会が（株）みらいパーク竜王を中心に、多くの関係機関や企業に参画してもらい、自走可能

問 ブランドづくりに
は、明確な目標と成果
が評価できる仕組みが
大切である。わが町の
取組を問う。
①「竜王ブランド」の
定義は。
②ブランドの発掘と開
発は。
③確立後の維持向上は。
④最近にできたブラン
ドは。
⑤非商品分野の取組状
況は。

なオール竜王での取組
で維持向上に努める。
④こだわり近江米「竜の
舞」や赤糸大粒ブドウ
の「紅式部竜宝」など
がある。
⑤英語教育やおたっしや
教室など。また「竜王
の文化を検討する懇話
会」を立ち上げ、食文
化、民俗文化、自然文
化など多種多様な地域
資源の定義付けに着手
したところである。



竜王町の豊かな農産物



小森 重剛 議員

問 コンパクトシ
ティ・ブランドデザ
イン構想の具体的取組
について
①財政計画は、どのよ
うな計画で臨むのか。
②リーダーシップは誰
がとるのか。
③長期事業計画のため
継続性が重要ではな
いか。
④事業達成までの、マ
ンパワーの確保は。
⑤住民への説明周知は。

問 コンパクトシ
ティ・ブランドデザ
イン構想は、どのよ
うな計画で臨むのか。
①財政計画は、どのよ
うな計画で臨むのか。
②リーダーシップは誰
がとるのか。
③長期事業計画のため
継続性が重要ではな
いか。
④事業達成までの、マ
ンパワーの確保は。
⑤住民への説明周知は。

答 早期具現化に向け知恵と技術を結集する

①各種基金と、国・県の
補助金などを最大限活
用する。
②町長を中心に推進体制
を強化し、中長期的に
適切な進捗管理を行う。
③今後策定する第6次総
合計画の基本構想や基
本計画に位置付け、そ
の中で策定する年次計
画に反映させて進捗管
理に努める。
④コンパクトシティ化の
具現化に向け、適切な
人員配置ができるよ
う、必要な人員を確保
する。
⑤大きな方針案ができた
時点で、順次、町民の
皆様に報告する。



コンパクトシティ化合同会議風景

町政 ここを問う!

3月定例会では12議員が
17問の一般質問を行いました。

ページ	質問者	質問事項
11	山田 義明	竜王ブランドの確立は
	小森 重剛	コンパクトシティ・ブランドデザイン構想は
12	小西 久次	人口減少の歯止めは まちづくりと今後の財政見通しは
13	菱田 三男	今後の下水道事業は
	貴多 正幸	行政執行方針の実現に向けて
14	森山 敏夫	自殺対策計画策定業務の進捗は 公共交通や移動手段の確保の進捗は
15	内山 英作	買い物、通院などが自由にできる町を 安心して暮らせる自治会を
16	若井 猛志	竜王の魅力発信をどのように まちの減災への取組は
17	森島 芳男	日野川改修の今後は IBMグラウンド跡地のその後の進捗は
18	岡山 富男	通学路の安全確保は
	松浦 博	就労人口の増加による影響は
19	古株 克彦	竜王IC周辺の開発は

一般質問って？

町の行政全般について
議員が町長をはじめとして
担当部局に疑問点を質したり、
見解などを尋ねたりするもので、
毎定例会で行われるよ



一度、傍聴に来て下さい！

議会ではどんな政策が審議されているか、あるいは自分
が選んだ議員がどのような活動をしているかなど、傍聴
は議会の動きに触れることのできる身近な方法です。

議会議務局（☎58-3713）にお問い合わせ下さい。

次回の一般質問は6月18日(火)予定

問 買い物、通院などが自由にできる町を

答 総合的な交通システムの構築が必要



内山 英作 議員



フレンドマートへのお出かけ支援(林自治会)

問 町の中心核と町内の各施設や集落を結ぶバス、タクシー、福祉有償運送、各自治会単位での外出支援サービスなど誰もがどれかを利用できる総合的な交通システムが整備されないで安心して暮らせる町にはならないと思うが、町の考えは。

答 今後、公共交通を含む方策は、コンパクトシティ化検討の中でもネットワークづくりの必要性と方策を検討しており、多様な移動手段で補完し合う総合的な交通システムの構築が必要と考えるため、より一層内容を深める。

また、利用できる交通手段としてどのようなものがあるか、ということを知らないことが不安につながるため、積極的な広報活動を行う。

問 安心して暮らせる自治会のために次の点を伺う。
①地域コミュニティ計画の進捗状況は。
②コンパクトシティ化検討事業で、持続可能な自治会への支援を図る具体的な取り組みと地域特性を生かしたコミュニティの再生を図る具体的な取り組みは何か。

答

①現時点では弓削自治会のみ計画策定されているが、この計画と同じ主旨で「地域支え合いしくみづくりモデル事業」を林・鶴川・弓削・西川地区の4自治会で取り組んでいる。
②持続可能な自治会への支援は、自治会との連携を図ること、将来的には一つの自治会だ



弓削のコミュニティ計画実施委員会で課題検討

けで解決できない課題が生じたときに、複数の自治会が一体となり解決できることを目指し目標に掲げている。

また、コミュニティの再生は、地域ごとの特徴を最大限に活用しながら、多様な世代の

問 安心して暮らせる自治会を 答 今後、具体策を検討していく

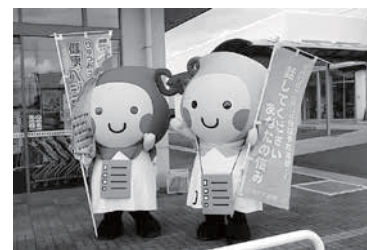
問 自殺対策計画策定業務の進捗は

答 取組や連携課題を明確にする



森山 敏夫 議員

問 「誰もが自殺に追い込まれることのない社会」の実現を目指すことが明記され、自殺対策計画の策定が市町に義務付けられる。
②平成29年までの9年間で33名。健康問題が一つの原因。未遂者は把握



自殺予防週間街頭啓発の様子

③「誰もが自殺に追い込まれることのない社会」の実現を目指すことが明記され、自殺対策計画の策定が市町に義務付けられる。
④自殺対策計画策定業務の進捗は、自殺対策計画策定委員会が定期的に検討から出た課題は、⑤「生きる事の包括的な支援」「仮称」のち支える電王町自殺対策行動計画」の公表と周知は。

①「誰もが自殺に追い込まれることのない社会」の実現を目指すことが明記され、自殺対策計画の策定が市町に義務付けられる。
②平成29年までの9年間で33名。健康問題が一つの原因。未遂者は把握

問 公共交通や移動手段の確保の進捗は

答 時間帯による利用者数格差と運転手不足が課題



通学定期補助の取組

問 現在のバス路線維持について伺う。
①既存バス路線の赤字補填の費用対効果と今後の見通しは。
②公共交通システムの課題解決に向けた方策は。
③JR篠原駅までの交通アクセスと岡屋線・野洲アウトレック線等の既存バス路線拡充の可能性は。

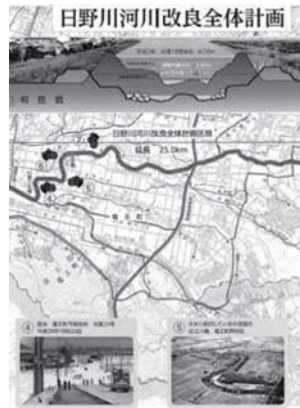
①現時点では弓削自治会のみ計画策定されているが、この計画と同じ主旨で「地域支え合いしくみづくりモデル事業」を林・鶴川・弓削・西川地区の4自治会で取り組んでいる。
②持続可能な自治会への支援は、自治会との連携を図ること、将来的には一つの自治会だ

問 日野川改修の今後は

答 県が河道計画の概略検討を行う



森島 芳男 議員



答 滋賀県では上流部への整備を進める方針が出された。上流部の整備を進めるには、河川整備計画の変更が必要である。このことから滋賀県では、計画変更に向けた基

問 日野川改修工事は、早期の事業推進を願っているが、基本計画の見直しをするため、現在、県で測量のための航空撮影を実施されたと聞いている。今後の日野川改修の事業計画はどのようなものか。

基礎資料作成のため、航空測量業務を、善光寺川合流点から上流部の佐久良川合流点までの区間において実施されている。平成31年度からは、この基礎資料を踏まえ、河道計画の概略検討を行い、地域の合意形成を図りながら、河川整備計画の変更、改修工事に向けて進められる予定である。日野川の早期抜本改修を進めるため、関係市町および日野川改修促進協議会とも連携しながら国・県に対して強く要望していく。

問 IBMグランド跡地のその後の進捗は

答 早期に住宅整備が進むよう努める



整備が進まない跡地

答 ①土地所有者へ4度訪問し、本町へ2度来訪があり、跡地の進捗状況の確認と早期の事業実施を要望してきた。土地所有者としては、早期に売却して事業を実施したいと考えているが、実際の開発は、開発事業者である。開発事業者は、採算性を確保するため、造成計画と手法についての検討に時間を要している

問 IBMグランド跡地について何度も一般質問をしているが、現在まで、開発事業が着手されていない。そこで次の点について伺う。
①平成29年6月以降の跡地利用の進捗は。
②解決策についての考え方は。

ため、事業が進捗していない状況である。引き続き、開発に関する協議や情報共有を行うとともに、本町も居住ニーズの魅力を高める施策に取り組むことで、課題解決に寄与できると考えている。住宅整備は、町重点施策プロジェクトの一つであり、早期に住宅整備が進むよう努める。

問 竜王の魅力発信をどのように

答 関心のある方とのつながりを深める



若井 猛志 議員



東京「ここ滋賀」での販売

問 「竜王ブランドを全国へ発信」するために、どのように発信するのか伺う。
①魅力ある農業の創出事業は。
②竜王近江牛等特産品発信事業は。
③道の駅アグリパーク竜王モデル化推進事業は。
④高知県馬路村では、「特別村民証」を交付し、イベント等の取り組みを馬路村特別村民広報誌として発行、発信されているが、このような取組ができないか。

答 ①本町が誇る野菜・果樹・近江牛等の農産物を真のブランドとして確立するための支援を行う。
②竜王の魅力を開発・発信していく。
③モデル「道の駅」選定も視野に入れながら、施設整備を行い、魅力発信を行う。
④既存のHPやSNSを活用し、町のイベントや取組など積極的に魅力発信に努める。

答 ①職員の防災研修等を通じて行政の力を高めると共に、各家庭で身を守る「自助」や地域での助け合いによる「共

問 近年、各地で災害が起こり農地・人的被害が発生しているが、災害の都度、管理的な教訓が生かされていないと考えるが、次の点について伺う。
①減災のまちづくりには、広域連携や、町民と行政の連携が必要では。
②大雨の場合は、在宅避難が多くなるが課題点は。
③災害対応時に、職員が長時間勤務で困難を強いられることはないか。
④地域防災計画見直しの進捗状況は。



防災拠点施設とヘリポート（滋賀電王工業団地内）

助」の組織強化や、広域支援をスムーズに受けるためのヘリポートや防災施設の整備を行った。
②災害が長期化した場合、避難者数、健康状態、ニーズ等の把握、支援物資等の配布が課題として考えられる。
③防災・河川担当は、警戒時期から警報解除後の安全確認まで長時間勤務は避けられないが、職員が柔軟に対応できる体制を構築していくことが必要であると考えている。
④地域防災計画は、災害時に実践できるマニュアルとして、平成30年度・31年度で見直しを行う。

問 まちの減災への取組は 答 実践できる減災対策の準備を進める

問 竜王IC周辺の開発は

答 メリットの大きい企業誘致に



古株 克彦 議員

問 小口工業地域に3社の開発が計画され、造成工事が実施中であるが、次の点を伺う。
①旧町有地を売却する時の約定に沿った開発か。
②3社が操業を始めるに相当の交通渋滞が予想されるが対策は、
③総面積約92000㎡の造成工事で調整池の機能は果たせるのか。また、下流域の広谷川への影響は、

答 ①プロポーザル方式によって土地を取得した事業者からは、当初予定していた物流系企業の誘致からデータセンターへの事業用途変更の申出を受けて、設備投資が期待でき、税収等のメリットが大きいと考えられることから承諾した。

②国道477号の



造成工事が進む小口工業地域

③下流域の広谷川への影響は、改修前と改修後の両方のパターンで審査されているので問題はない。

追跡!! あの質問はその後どうなった??



滋賀竜王工業団地の進捗状況は

(平成28年5月定例会地域活性化特別委員会での質疑応答より)

議員の質問に、町がその後どのように対応したかを追跡・検証してみました。

問 現時点で、工業団地内で残っている工事は何か。
答 調整池のフェンス工事である。
問 来年は、防災施設の備蓄倉庫等を計画している。
答 ①調整池は出水期以外、多目的広場として、誰もが自由に使用できるよう整備された。
問 工業団地の7区画について、4区画が誘致され、内1社は操業している。また、ヘリポートを持つ防災倉庫も整備された。



調整池に設置されたフェンス

問 通学路の安全確保は

答 要望検討していく



岡山 富男 議員

問 通学路の安全確保について伺う。
①通学路になっている鏡集センター前のS字カーブは交通量が多く危険な道路であるが、歩道拡幅の計画は。
②町道小口八重谷線と県道春日竜王線が交差する小口交差点には、一部、横断歩道がないため追加で設置はできないか。



危険なS字カーブ (町道鏡七里線)



一部横断歩道がない交差点 (県道春日竜王線)

答 ①これまでも近江八幡警察署、通学路交通アドバイザー他関係等による「通学路合同点検」を実施し、交通安全対策を行っているが、歩道拡幅については、現地調査し、検討する。
②県道春日竜王線の業師地先では一部、歩道拡幅工事を計画されているため、近江八幡警察署と共有を図る中で横断歩道の設置の要望を検討していく。



松浦 博 議員

問 企業進出が現実化する中、就労人口の影響と対策について伺う。
①通勤者に対する道路整備と転勤者に対する住宅整備は。
②女性の就業拡大に向けた働きやすい環境整備は。
③進出企業に対しての障害者雇用の指導は。
④出入国管理法改正により外国人雇用が増加するが、共生社会への考え方と、児童生徒への教育対策は。

答 ①道路の混雑状況により必要な対策を講じる。転勤者に対して民間開発による住宅整備と、コンパクトシティ構想により2030年頃を目途に居住ゾーンの整備を行う計画。
②民間事業所との連携を密にして、保育所や児童保育所において待機児童が発生しないよう取り組む。



通勤者で混雑する県道春日竜王線

③進出企業との覚書で、障がいのある人が働ける場所や機会の提供に努めてもらえるように働きかける。
④竜王町人権尊重のまちづくり条例の理念に基づき、人権尊重の視念に立った事業を推進する。教育については、県教育委員会事業の活用、外国人児童生徒支援員の配置など支援の検討を行う。

問 就労人口の増加による影響は

答 多岐にわたる対策を庁内連携で取り組む

シリーズ いきいき人生

No.35

綾戸在住

なみかわ ちえこ
並川智栄子 さん

生涯現役で楽しく



農協を退職して、早や12年が経ちました。農協では新規福祉事業（介護保険事業）の立ち上げに、8年間携わりました。当時、介護は家族でと利用される方は少なく、各地域に出向き、寸劇をまじえ制度の説明に伺いました。また、ホームヘルパーの養成を開講し、多くの方に学んでいただきました。

グループホームでの活動

現在は綾戸地区のグループホームで仕事をさせていただいています。施設に入ると「ただいま、帰って来ました」と挨拶します。「お帰り、外はどうも

なかったか」とやさしく迎えて下さいます。

施設では24時間、目が離せなく、ある方は「もう家に帰るわ」と外に出て行かれます。自分の家ではない事が分かっていても、何処へ行けばいいのか迷われます。思いを汲み取り一緒に同行すると、安心され自然と戻って来られます。自分がすることが分からなくなっていく不安、苦悩は計り知れないものがあります。少しでも寄り添い安心感、信頼関係が結べるようにとコミュニケーションを取るように心掛けています。また、その方の持てる力を少しでも持続されるように、ゆっくり見守り、出来ることの喜びを感じ取っていただきたいと思っています。

おばあちゃんの知恵袋、いろいろ教えていただくこともあり日々勉強です。皆さんの笑顔が私達の励みになります。

また、幼稚園児さんとのふれあい、夏には地域の方々と流しそうめん等を行い、私達だけでは成し得ない力を地域の方々からたくさんいただいています。

毎日元気で居られることの有難さ、自分の好きなグランドゴルフや野菜づくりで体力づくりに励み、生涯現役で体の続く限り、少しでも役に立てるよう皆さんと共に楽しく過ごしたいと思っています。

表紙

咲き始めたチューリップ畑

4月上旬、道の駅アグリパーク竜王近くの畑一面にチューリップが開花し始めました。

このチューリップ畑は、昨年、町内のまちづくり団体「竜王魅力発信くらぶ」の皆さんが、オーナーを募集し、町内外の約140人がオーナーとなって11月に植え付けをされました。

この日、「来週には咲くかな?」と開花間近となった畑を手入れするオーナーさん家族の姿がありました。

見頃を迎えた品種もあり、チューリップ園には多くの人が訪れ、花を観察したり、写真を撮ったり、畑に設置されたチューリップの「顔はめパネル」で撮影したり、花のある風景を満喫されていました。



編集後記

元号が「平成」から「令和（れいわ）」に変わりました。西暦645年の「大化」から数えて248番目の元号となります。

新元号が使用できるのは本議会だよりの発行される5月1日からです。

記者会見を見ていると今回は、中国の古典からではなく日本の万葉集の「梅花の宴」の一部に歌われているの中から引用された元号です。いつまでも続く元号であってほしいものです。

(若井記)

議会広報特別委員会

委員長	古山 英作
副委員長	内山 克彦
委員	菱田 三男
委員	小西 久次
委員	若井 猛志
委員	貴多 正幸



環境に配慮し、再生紙及び植物性インキを使用しています